

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日三月二十

定部金貳錢 廣五號十二 休日曜大祭 常盤縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

常盤論壇 政治に 禍さるる經濟 田中五郎 (三) 實證を挙げれば切りがなからう。日銀の利下げにしては...

科外 門專 入院應需 上田外科醫院 平町南町 電話一二九番

冬物荷揃特價大賣出し 大人メリヤス 六拾錢より 小兒科一般、内科一般、皮膚花柳病科、血液...

山家メリヤス店 平町一丁目 (電話六〇五番) 衛生試驗所、皮膚泌尿科、外科、皮膚科、泌尿科...

獨創的營養飲料 森永ココアミルク 新鮮な牛乳に香味豊かなココアを配し更に適量の糖分を加味して最新式の真空釜で低温度に濃縮したものであります。

鹽屋山崎合名社會 醬味鰹酒罐食品 油噌節類詰 製造問屋 電話 營業一部〇番 電話 工場二番七番

看護婦派出的 求めに應ず 平町南町 看護婦會 電話三〇七番

共濟病院 平町 城 電話六四一番 診療時間午前九時より午後二時迄 急患は此限りにあらず

高久病院 第二病室 院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

青病藥 定價 一週間分 靈藥 本舖 福島縣石城郡神谷村 大字鎌田岸廿七番地 鈴木銀太郎

### 前科二犯の酌婦 浴場で賊を働く

現金卅五圓六十錢と金指輪  
餘罪もある見込み  
平町南町笑月方酌婦岩瀬郡  
濱田村大字濱尾字瀧田生れ  
有智トメ(ニ)は窃盗前科二  
犯を有するした、か者であ  
るが二日午後二時頃同町字  
南町中野湯に入浴に行き同  
町字仲町石炭商大川松太郎

### 各炭鑛の健康保険 組合設立は五ヶ所

六千七百の労働者五百の職  
員を擁してある石城郡内郷  
村磐城炭鑛では健康保険組  
合の組織命令があつたので  
八日までに組合設立の申請  
をなすべく  
準備中 であるが加  
入者は労働者以外月俸百圓  
未満の職員全部に及ぶため  
約七千人に達すべく現在會  
社で設けある共済組合は右  
と同時に解散するが健康保  
険に救済を家族に及ぼさぬ  
ためその部分だけを特に  
目的として存置す  
るか考究中である、なほ保  
険組合は加入者二百名から  
一名の評議員を擧げるため  
磐城炭鑛では明春一月早々  
選舉を行ふ管で石城郡内で  
保險組合を設ける所は従業  
員三百名以上を有する入山  
古河、三井、福島の大炭  
鑛だけである

### 流石に忙しく 新妓の争奪戦

平町に於ける藝妓酌婦の  
数は男數人に對し一人の割  
合といふ驚くべき數字に達  
してゐる然して之等花柳界  
の昨今は不景氣の深刻化に  
際して

### 台灣より

滑川警中校長通信  
角拔山の蕃童教育に感激  
したる後廿三日台北を立  
ち台中の状況を視察唯今  
當地に着泊致し候、海拔  
正に七千五百尺、雲海に  
登ゆる山、實に偉觀に見、  
當地二泊營林状況を見、  
これより台南に向ふ筈に  
候(廿五日、阿里山俱樂部  
にて)  
雲海に秋の塔山  
聳え立つ



南天の投入れ

南天の實の赤く色づいて投  
入れに使ふには最も風情の  
ある使ひ所になりました、  
これを投入れに扱つて、か  
つこうのうまかつかないの  
を

### 等級検査一萬俵に 平支所意氣込む

平穀物検査支所管内におけ  
る磐城新米の検査は十一月  
中三四俵  
内二等四俵、三等五俵、  
四等二百四十六俵、五等  
四十七俵、等外二俵  
で米質は一般に收穫期の天  
候順調だつた爲め  
乾燥調整 ともに良  
好で郡南勿來、錦地方では  
地主が小作米の受檢を奨励  
し四等合格一升を標準とし  
て夫々格差に應じ補償米を  
支給してゐる爲め等級検査  
がめつきり普及し來る五日  
に錦受檢組合十五日頃勿來  
町で  
検査米の 共同販賣  
を行ふ筈で炭鑛の磐城は米  
の棄て場として從來多く未  
検査のまま賣買される弊習  
があるが今年には是非等級檢  
査を

### 火藥爆發し 坑夫吹飛さる

生命覺束なし  
石城郡警崎村字藤原三井炭  
鑛三宅富助方居住坑夫岸惣  
三郎(ニ)は二日午前十二時  
頃同炭鑛第五坑にて作業中  
突然火藥爆發した爲め吹き  
飛ばされ全身に重傷を負へ  
生命覺束なしと

### 自動車検査 台數四十七臺

平署管内自動車検査は縣よ  
り田中技手出張昨日湯本町  
本日平町にて執行されたが  
は南天の木を中心に考へて  
さすからであります。其爲  
赤い實のやり所に困つて變  
な形になります。ですから  
赤い實を中心に考へて葉振  
りや木は實のあしらひのつ  
もりで形をまどめて行きま  
す。投入れは花器の氣分を  
見せるのが本旨であります  
から花器に調和よくそして

### 小田炭鑛 怠業状態 凄慘の氣漲る

既報石城郡好間村小田炭鑛  
が營業不振によつて事業の  
縮小をなし同山に働いてゐ  
る坑夫七百餘名を餓首斷行  
することを聞いて一般労働  
者は俄に不穩の形勢に出で  
日本坑夫組合と謀り前後策  
を協議してゐたが二日午後  
三時に至り全山意氣分が  
満たされ日々一千五百トロ  
位を搬出してゐたのが十五  
トロ内外の採炭しかせず一  
方日本坑夫組合では同村に  
爭議團本部を置いて各地か  
ら應援隊が續々として入込  
み物すごいまでの氣分に満  
たされ平警察署では萬一を  
慮つて非番巡查を召集警戒  
の任に當つてゐる

### 本日消防點檢 櫛村平署長は三坂、澤渡、永

戸の三ヶ村聯合消防點檢へ  
岡部警部補は好間村消防點  
檢に夫々臨席した  
飾られた部屋とか場所に調  
和よく挿すのが投入れ花の  
見どころであります。一本  
挿しても數本挿しても實が  
面白くまどまれば葉や木は  
ワキ役として實の房の風情  
を一層引き立つ様あしらひ  
根じめとして寒菊や水仙其  
他の草花を適當に入れたら  
尙面白いでせう

### 磐女卒業生の 落ちつく先さは サテ何處

一千二百名の現住調査  
磐城高等女學校では本年十  
月一齊に同校卒業生徒一千  
二百名に對し現住調査を行  
つたがその調査によると近  
ごろの女の生活方面がハツ  
キリわかつて  
面白い 今數字的に  
之を見ると流石本場だけに  
石城郡における現住者が六  
百六十五名の首位を占め、  
次が東京市内の七十九名、  
同府下五十六名合計百三十  
五名の多數に上り又本郡を

### 此の邊

の家が先づ  
高率といふ處であるが、北  
海道の十一名、樺太の一名  
は大したこともないが臺灣  
の四名に朝鮮、滿洲の各三  
名その隣國の支那が二名、  
すつと飛んで南洋一名、ア  
メリカの四名などは、昔の  
御婦人などには一寸及びも  
つかぬ處である

### 之等は いづれも主 婦となつて海外に相當の活 躍振りを示して居ると

一ヶ月の小便  
三千五百圓  
麥酒丈が平で  
平町貨物取扱所から出荷さ  
れる麥酒の空瓶は一ヶ月平  
均八噸一車千八百本で古物  
商が一二錢で買上げ之れを  
纏めて製造元に送つて居る  
のであるが此の内古物屋の  
手に渡らぬ空瓶を合せ概算  
すると約七千一本店賣り  
が五十錢と見積つて三千五  
百圓が平町で小便になつて  
しまふわけである

### 高文資格を 確實に獲得 警中出身三氏

先般の行政官筆記試験に合  
格した警中出身の緑川亨、  
高野元、鷲英雄の三氏は口  
述試験も見事に合格せる旨  
昨日の官報に發表あり是れ  
を以つて右の三氏は高等文  
官の資格を確實に獲得した  
平第一校で  
クレヨン畫  
展覽會を開く

### 詩の會を開く

石城  
郡の詩を歌ふ人々の一機關  
である詩の會は五日午後一  
時から公園春木亭にて第七  
回例會を開く由であるが會  
費は五十錢で同好者の出席  
を歓迎すると

### 平町人事

▲出生  
△大工町二一 廣田徳吉氏二男保  
△細屋町二六 阿相幸三郎氏二女  
▲死亡  
△大工町二一 廣田保(一ツ)